

技術・家庭科学習指導案

平成24年9月13日（木）5校時

指導者：仙台市立柳生中学校

教諭 門脇 道

指導学級：2年6組37名

指導教室：被服室

1 題材名「身近な消費生活と環境」

〈家庭分野, D身近な消費生活と環境, (1) ア, イ (2) ア〉

2 題材の指導目標

自分や家族の消費生活に关心を持ち、消費者の基本的な権利と責任について理解をするとともに、物資・サービスの選択、購入及び活用について必要な情報を収集・整理し、それらを活用して適切な選択、購入及び活用の工夫ができるようにする。また、消費生活と環境との関わりについて关心を持ち、環境に配慮した消費生活について工夫し、実践できるようにする。

3 題材について

(1) 題材観

中学校学習指導要領が改訂され、「(1 家庭生活と消費」では、中学生の身近な消費行動を振り返ることを通して、家庭生活における消費の重要性に気付き、消費生活の基本的な権利と責任について理解を深めるとともに、物資・サービスの適切な選択、購入及び活用ができるなどをねらいとしている。これまでの自分の実践を振り返ってみても、消費者トラブルの対応等に指導の力点が置かれ、消費者教育の意義や基礎概念の一つである意志決定の指導に難しさを感じていた。本題材の中で、販売者側の立場で、商品製造を行い、パッケージを作ることを通して、商品選択における、自己の価値観の変容に迫った。また、価値判断できる力や適切な意志決定する能力は、生活の中で繰り返し学習することで身に付けていくものと考える。基礎的な知識・技術を身に付けた上で、自らの価値観に基づき主体的な意志決定ができるようになることで、消費生活に対する关心が高まることにもつながるものと考え本題材を設定した。

(2) 生徒観

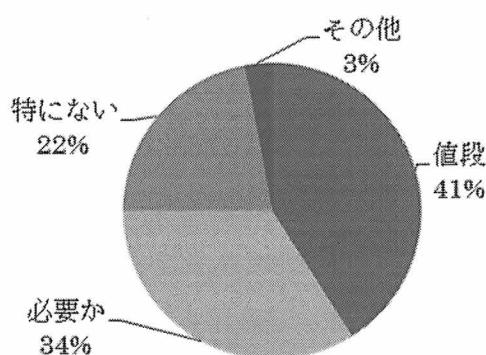
本題材において石けん作りと、パッセージ作りを設定していることから、事前に以下の①、②についてアンケート調査を行った。

- ①あなたは買い物をするときにどのようなことに気をつけていますか。
- ②自分で石けんを購入する場合、重視することはなんですか。

(第2学年 生徒106名回答)

①の質問では、商品を指定しな

①買い物をするときに 気を付けていること



かったということもあり、小学校の学習の経験から、「お小遣いの範囲で」、「無駄遣いしないように」という意識の中で回答している様子が伺える。また、アンケート回収後に、自分で購入する物について、口頭で質問したところ、お菓子、ジュース、文房具類、本、といったものが多かった。

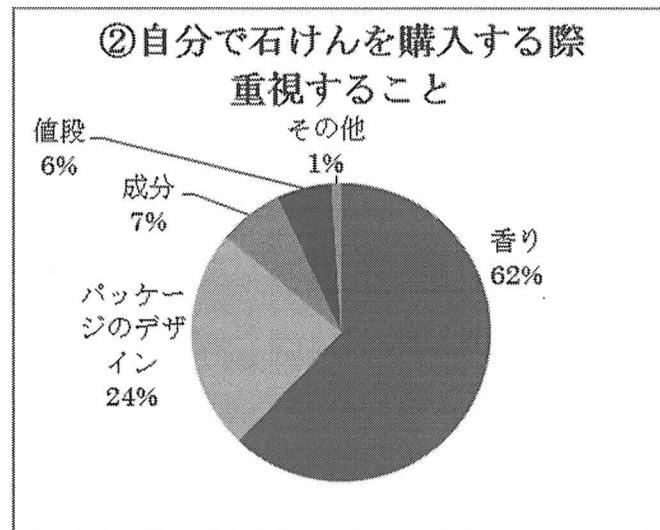
②の質問では、半数以上の生徒が「かおり」を重視し石けんを購入すると回答していた。次いで多かったのが、「パッケージのデザイン」であったが、回答者の大部分は女子生徒であった。その他では、「使い心地」、「泡立ち」などを重視するといった回答もあった。ワークシートの回答の様子からも、全体的に見ると、約4種類ほどの商品の中から、1~2個の項目（例：香り、値段）を確認し、購入の意志決定を行っていることも、わかった。

これらの結果から、②の商品の購入における視点の乏しさから、意志決定の在り方についての課題を感じる。また、口頭による質問から、商品を購入する機会が少なく、商品の購入に関して、自分たちにとって身近なことであるという意識も低いことから、本題材を通して、消費者としての自覚を高め、主体的に考え、判断できる能力と態度の育成を目指したい。

（3）指導観

本題材では、消費生活に关心を持ち、消費者の権利と責任についての理解を深めることをねらいとしている。消費者の権利と責任は、主体的な消費生活に必要な基礎的知識であり、適切な意志決定とは、その知識に基づいたものと考える。しかし、消費者の権利と責任は、生徒が自分の消費生活と関連させて理解しにくいところである。そこで、実際の消費生活や最近のニュースなどと関わらせるようにし、身近なこととして考えさせる工夫をした。

また、本題材の中で、販売者側の立場で、商品製造を行い、パッケージを作ることを通して、商品選択における、自己の価値観の変容に迫りたい。価値判断できる力や適切に意志決定する能力は、生活の中で繰り返し学習することで身に付けていくものと考える。基礎的な知識・技術を身に付けた上で、自らの価値観に基き主体的な意志決定ができるようになるために、比較や検討、判断等、意志決定プロセスを繰り返し実践できるように設定した。



4 題材の指導計画

- ・題材名「家庭生活と消費」
- ・題材の指導計画（10時間）

小題材名	時数	時間	指導内容	指導項目
1 生活に必要なもの	4	1	どこから提供されるのだろうか	D (1) ア・イ
		3	なぜ値段がちがうのだろうか	
2 商品の選択と購入	4	2	商品の選択・購入（本時1／2）	D (1) ア・イ
		1	トラブルの解決と消費者を守るしくみ	
		1	販売方法と支払い方法	
3 消費生活と環境	2	1	生活と環境への影響	D (2) ア
		1	よりよい暮らし方	

5 題材の評価規準

- ・題材名「家庭生活と消費」

生活や技術への 関心・意欲・態度	生活を工夫し 創造する能力	生活の技能	生活や技術についての 知識・理解
自分や家族の消費生活 や環境に配慮した消費 生活について関心をも って学習に取り組み、よ りよい消費生活を実践 しようとしている。	家庭生活と環境、物資・ サービスの選択、購入及 び活用について課題を見 付け、その解決を目指 して工夫している。	物資・サービスの選択、 購入及び活用について、 必要な情報を収集・整理 することができる。	家庭生活と消費、消費生 活と環境との関わりに 関する基礎的な知識を 身に付けています。

6 題材の指導内容と評価計画（10時間）

学習内容	時 数	時 間	具体的評価規準			
			生活や技術への 関心・意欲・態度	生活を工夫し 創造する能力	生活の技能	生活や技術についての 知識・理解
1 生活に必要なもの ・ どこから提供され るのだろうか	4	1	①自分や家族の 消費行動を振り 返って、成功例や 失敗例とその理 由を考え、発表や まとめることが できる。 ③消費行動を振 り返り必ずしも 必要でないもの があることに気 づく。			②自分の生活を 振り返り、物資と サービスの意味 がわかり、ものの 流れがわかる。

・なぜ値段がちがうのだろうか (豆乳石けん作り)		3	①同じ商品でも価格が違うのはなぜか考え、考えている。	②消費者が購入したいと思うような商品について考えたことをもとに、パッケージのデザインを考えることができる。	③石けんを購入する際に必要な表示やマークなどの情報・整理することができる。	④価格の決まり方がわかる。 ・表示やマークは商品を選択する重要な情報になることがわかる。
2 商品の選択と購入 ・よりよい商品の選択・購入 (模擬体験) 本時1／2	2	2		①物資・サービスの選択、購入及び活用について必要な情報を収集・整理し、それらを活用して適切な選択、購入及び活用の工夫ができる。	②物資・サービスの選択、購入に必要な情報を収集・整理することができる。	
・トラブルの解決と消費者を守るしくみ		1	①だます側、だまされる側の心理について関心をもってロールプレイングをおこなっている。	②消費者トラブルに巻き込まれないための工夫ができる。	③クーリング・オフ制度の内容を理解してはがきが書ける。	④消費生活センターの場所やクーリング・オフ制度のはがきの書き方がわかり、トラブルの解決方法がわかる。 ⑤消費者の基本的な権利と責任、消費者基本法の趣旨について理解している。
・販売方法と支払い方法		1	①いろいろな販売方法があることに気づく。		②販売方法の種類と特徴がわかり、場面に応じた選択ができる。	③販売方法の長所と短所を理解している。 ④支払い方法の種類と特徴がわかり、場面に応じた選択ができる。 ⑤契約の意味やルールがわかる。
3 消費生活と環境 ・生活と環境への影響	2	1	①自分や家族の消費生活が環境に与える影響について関心がもてる。			②自分や家族の消費生活が環境に与える影響について理解している。

・ よりよい暮らし方		1	①環境に配慮した生活を実践しようとしている。	②自分や家族の消費生活を点検し、環境に配慮した消費生活について考えたり、実践を通して自分なりに工夫したりしている。	③環境に配慮した消費生活に関する知識を身に付いている。
------------	--	---	------------------------	---	-----------------------------

7 本時の指導計画

(1) 本時の題材 「よりよい商品の選択・購入」(模擬体験)

(2) 本時の指導目標

- ①物資・サービスの選択、購入及び活用について必要な情報を収集・整理し、それらを活用して適切な選択、購入及び活用の工夫ができる。(工夫・創造)
- ②物資・サービスの選択、購入に必要な情報を収集・整理することができる。(生活の技能)

(3) 本時の指導と手だて・工夫

本題材の中で、製造者側の立場で商品（豆乳せっけん）製造から、パッケージのデザインまでを行った。その際、せっけんには薬事法で定められた記載事項があることや、原材料は多いものから順に記載することなどを学習した。また、必要な情報やマークについて調べ、消費者が購入したいと思うような説明を考え、パッケージに加えた。商品製造を行うことを通して、商品の値段については、その品物の品質や提供のされ方などによって違いがあることに触れた。最初のアンケートで「せっけんを購入する際重視すること」について聞いたところ、「かおり」「パッケージのデザイン」など、判断基準は平均1.5項目程度であった。商品製造後に、意志決定プロセスカードを使用し、購入の意志決定を行った。自分で製造した豆乳せっけんを含めた、4種類のせっけんの中から、購入するせっけんの意志決定を行ったところ、平均3項目と意志決定までの判断基準が増えているが、品質よりもかおりを重視する傾向に変化はなかった。

適切な意志決定をする能力は、生活の中で繰り返し学習することで身に付けていくものと考えることから、本時は、色々な商品によって視点が違うことを捉えさせるために、実際の情報の収集・整理する場面を設定した。模擬体験を通して学んだことをこれからの実生活に生かすことができると考える。

(4) 本時の具体的評価規準

- ①物資・サービスの選択、購入及び活用について必要な情報を収集・整理し、それらを活用して適切な選択、購入及び活用の工夫ができる。(工夫・創造)

〈Aとする状況〉 ワークシート3、4の記述より。

物資・サービスの選択、購入及び活用について必要な情報を多様な選択の視点で収集・整理し、それらを活用して適切な選択、購入及び活用の工夫ができる。

〈Cへの手だて〉 優先したい視点に関する情報を選び、書き出すよう助言する。

②物資・サービスの選択、購入に必要な情報を収集・整理することができる。

(生活の技能)

〈Aとする状況〉 ワークシート2の記述より。

物資・サービスの選択、購入に必要な情報を収集・整理し、選択の視点を分類することができる。

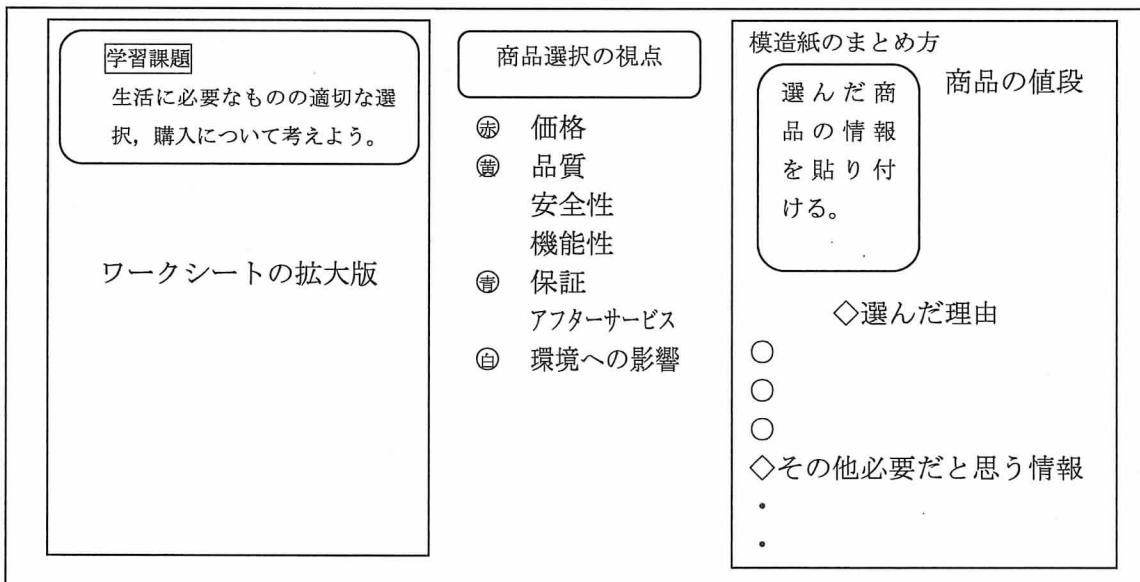
〈Cへの手立て〉 分類の例をいくつか挙げ、それを参考にシールを貼らせる。

(5) 本時の指導過程

段階	学習活動	□指導と支援の具体 ※資料・準備物など	評価計画	
			規準	方法
課題把握 5分	1 本時の学習目標を確認する。 (ワークシート1)	□購入するものや購入の目的によって視点が異なることに気付くよう、種類の異なる商品を取り扱う。 ・自転車・ハンバーガー・シャープペン		
	生活に必要なものの適切な選択、購入について考えよう。			
課題追求 45分	2 グループに設定された商品の選択の視点についてあげる。 (ワークシート1)	□商品選択における自分の視点を確認させる。 □商品カードを班長に引かせる。 ※商品カード 3種類×2枚		
本時	3 生活に必要なものを適切に選択、購入及び活用するために必要な情報を収集する。 (グループ) (ワークシート2)	□それぞれの商品の購入の目的を確認する。 □情報バックを配布する。 ※情報バック □模擬体験を通して、選択、購入について考え、意志決定ができるようにする。 □必要な情報の収集が進まない生徒には、優先したい視点に関する情報を選び、まとめるよう助言する。	②	ワークシート2 行動観察
	4 収集した情報を、シールを用いて整理する。 (ワークシート2)	□選択の視点をシールで分類し、集めた情報の整理を行う。 ※視点確認シール 4色	②	
	選択の視点 ・価格 ・品質、機能性、安全性 ・保証、アフターサービス ・環境への影響 (個人)			
	5 収集・整理した情報を活用して、生活に必要なものの選択・購入について考え、選択した理由をまとめる。 (個人)	□収集した情報をもとに、どの商品を購入するかを選択させる。 □選択した理由をまとめさせる。 □その他に必要だと思う情報を記入させる。	①	ワークシート3 行動観察
	(ワークシート3)			

	6 グループの中で、それぞれの考えを交換する。 (言語活動) 7 どの商品を選択・購入するのか、グループごとにまとめる。	□ワークシートをもとに、自分の考えを伝えるように助言する。 □話し合い活動を通して、再考させる。 □模造紙にまとめる。その際、選択した理由も記入させる。 □まとめの模造紙作製と、発表原稿の準備を6人でうまく分担させる。 ※模造紙、マジックペン、両面テープ ※選択した商品の情報バック		
課題解決 35分	8 グループの考えを交換する。 (発表)	□班ごとに選んでいる商品が違うので、商品1～3について説明し、その中から選んだ商品と、選んだ理由を発表するよう助言する。 □購入する商品を決定し、発表することで、商品決定にはさまざまな考え方があることに気付かせる。		
まとめ 15分	商品を購入する際、これからどのようなことに気を付けていきたいですか？			
	9 商品決定について、消費者としてどうあるべきか考える。 (個人) (発表) (ワークシート4) 10 本時のまとめ。	□商品の意志決定について、これから自分はどのようにすればよいかを考えさせる。 □自分の中で再考させる。 □学習を振り返り、購入するものや購入の目的によって視点が異なることを確認する。	①	ワークシート4

(6) 板書計画



(7) 準備物

- ・商品カード 3種類×2枚
- ・ワークシート
- ・情報バック 3種類×2セット
- ・シール 4色
- ・模造紙 6枚
- ・マジックセット 6セット
- ・両面テープ 6班分

生活に必要なものの適切な選択、購入について考え方

2年 組 備名前_____

- 1 生活に必要な商品やサービスを選択する視点を考えよう。

私に必要なもの	ハンバーガー	自転車	シャープペン
選択の視点 (ポイント)			

- 2 生活に必要なものを適切に選択、購入するために必要な情報をまとめ、整理しよう。

購入の目的	ハンバーガー			自転車			シャープペン		
	商品1	商品2	商品3	商品4	商品5	商品6	商品7	商品8	商品9
選択の視点									

- 3 2で整理した情報を活用して、生活に必要なものの選択、購入について考え方。

選んだ商品	選んだ理由	その他の要因情報
商品		
私の意見		
筆		

- 4 商品を購入する際、これからどのように気を付けていきたいですか。

4 工夫・創造

これからの商品選択について、どのような視点を持って購入していきたいと考えているかを見る。

※次時の評価とする。

1 知識・理解

選択の視点を記入させ、購入するものや目的に応じた視点があることに気付いているかを見る。

※本時の記録する評価として設定せず、選択するための視点に気付いているかを確認し、指導につなげるための評価にしたいと考える。

2 技能

選択の視点を持って、必要な情報を収集・整理することができているかを見る。

※実際に提示された資料の情報を収集・整理することから、技能の評価をすることができると言える。

3 工夫・創造

整理した情報を基に、商品を選択した理由、自分の考えを表すことができているかを見る。

学習課題 生活に必要なものの適切な選択、購入について考えよう

2年 組 番 名前_____

1 生活に必要な物資やサービスを選択する視点を考えよう。

私に必要なもの	ハンバーガー	自転車	シャープペン
選択の視点 (ポイント)			

2 生活に必要なものを適切に選択、購入するために必要な情報を集め、整理しよう。

購入の目的	■ハンバーガー・・・「お腹がすいちゃった！ランチしよう！今日はハンバーガーだっ！！」	■自転車・・・「もうすぐ高校生！自転車通学頑張るぞ！近場に遊びに行くのも便利だ。」	■シャープペン・・・「シャーペン、なくしちゃった・・・買わないといけないなあ・・・。」
	■商品名		■商品名
選択の視点	商品1	商品2	商品3

赤 _____ 圓 _____ 圓 _____ 白 _____

3 2で整理した情報を活用して、生活に必要なものの選択、購入について考えよう。

	選んだ商品	選んだ理由	その他必要な情報
私の決定	商品		
	値段		
	￥_____		

4 商品を購入する際、これからどのようなことに気を付けていきたいですか。